

2024 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本語Ⅱ－2 (JapaneseⅡ－2) 2011-0-21-021					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)		
科目区分	教養科目 (留学生 科目)	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2 年次	開講期	後期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
4 技能（読む、書く、聞く、話す）を伸ばすことを目指す。 日本語能力試験（JLPT）N2 または N1 に合格することを目指す。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
状況によって、試験のやり方が変わる。詳しいことは試験の前に説明する。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストを行う。宿題なることもある。 授業の前：次の授業にそなえて準備しておくこと。 授業の後：授業の内容を確認すること。 教室では、母語や英語を使わず、日本語で話すこと。 授業はすべて日本語で行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
日本事情 1、日本事情 2、日本語Ⅰ-1、日本語Ⅰ-2、日本語Ⅱ-1 を履修しておくことが望ましい。									
⑤ テキスト（教科書）									
①伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク (1 年次に使用したテキストを引き続き使用する。) ②ABK 財団法人 アジア学生文化協会 (2014 年)『TRY! 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語』アスク (中国語版、ベトナム語版、英語版があるので、各自自分が使いやすいものを購入すること。)									
⑥ 参考図書・指定図書									
友松悦子他 (2010 年)『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク 佐々木瑞枝他 (2006 年)『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times 二通信子、佐藤不二子 (2020 年)『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク 日本語能力試験問題研究会 (2011 年)『日本語能力試験直前対策 N2 文字・語彙・文法』国書刊行会 田代ひとみ他 (2011 年)『新完全マスター読解 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク									

⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙や文法の問題が、授業でやった範囲内であれば 90% 以上得点できた。
(ii) 身近な話題や個人的に関心のある話題というテーマで、準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。
(iii) 身近な話題や個人的に関心のある話題というテーマで、適切な構成で、ネイティブチェックが無くても、おおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙や文法の問題が解ける。	授業でやった範囲を超えて、N2 レベルの語彙や文法の問題で 80%以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙や文法の問題で、90%以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙や文法の問題で、75～89%得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙や文法の問題で、60～74%得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙や文法の問題で、60%以上得点できなかった。
(ii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表でき、質問にも答えられた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに発表できたが、流暢ではなかった。	原稿を見ながらであれば、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できた。	原稿を見ながらであっても、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できなかった。
(iii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、まとまりのあるやや長い文章が書ける。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る 1000 字以上の文章が書けた。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る 600～800 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックではおおよそ意味の通る 600 字以上の文章が書けなかった。

⑨ 学習到達目標 (評価項目)	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%	10%	15%	15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙や文法の問題が解ける。	45%	10%			10%		65%
(ii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、日				15%	5%		20%

本語で伝えられる。							
(iii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、まとまりのあるやや長い文章が書ける。			15%				15%
フィードバックの方法	課題は添削して返す。小テストは採点して返す						

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション、夏休みの宿題発表	夏休みの宿題を、発表できるように準備しておく。	60 分
2	語彙テキスト第 2 部、第 6 章、第 1 課 文法テキスト 7 オオカミと生態系 (1)	前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60 分
3	語彙テキスト第 2 部、第 6 章、第 2 課 文法テキスト 7 オオカミと生態系 (1) (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60 分
4	語彙テキスト第 2 部、第 7 章、第 1 課 文法テキスト 7 オオカミと生態系 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60 分
5	語彙テキスト第 2 部、第 7 章、第 2 課 文法テキスト 8 取引先でミニスピーチ 1	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60 分
6	語彙テキスト第 2 部、第 7 章、第 3 課 文法テキスト 8 取引先で	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60 分
7	語彙テキスト第 2 部、第 7 章、第 4 課 文法テキスト 9 食べ放題 (1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60 分

8	模擬試験第1回 文法テキスト 9 食べ放題 (1) (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60 分
9	模擬試験第2回 文法テキスト 9 食べ放題 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチをしておく。	60 分
10	文法テキスト 10 満員電車 (1) ミニスピーチ 2	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60 分
11	文法テキスト 10 満員電車 (1) 文法テキスト 10 満員電車 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチ原を準備しておく。	60 分
12	文法テキスト 10 満員電車 (2) 文法テキスト 11 ラーメン の紹介	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	60 分
13	文法テキスト 11 ラーメン の紹介 文法テキスト 12 ウォーキン グシューズの開発 (1)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	60 分
14	文法テキスト 12 ウォーキン グシューズの開発 (1) 文法テキスト 12 ウォーキン グシューズの開発 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	60 分
15	文法テキスト 12 ウォーキン グシューズの開発 (2) スピーチ	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。	60 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性